

## 事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

## 【事務事業の基本的事項】

事務事業名	まちづくり交付金事業費			
担当課係名	都市整備課	都市整備係	作成者	築田 正
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ
	基本計画	都市計画や適正な土地利用の推進		
	主要施策	都市計画事業の推進		85
予算費目	一般会計	8款 土木費	4項 都市計画費	2目 街路事業費
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度		新規 / 継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	都市再生特別措置法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

## 【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	若者の住環境整備と来訪者のまちなかへの誘導と定住化を促進。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	歴史的資源を生かした高質空間形成と、新たな玄関口の創出で来訪者の増加による中心市街地の活性化。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	中心市街地地区：道路の高質空間化を図るための舗装・照明灯整備、来訪者の誘導を図るための立町ホッパ-ク、外町交流広場整備。 駅東地区：新市街地形成のための道路・公園・多目的広場整備。

## 【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	舗装・照明	m	383		
		外町交流広場	m <sup>2</sup>		720	
	成果指標	事業の進捗率	%	52	64	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			281,000	155,000	
	財源内訳	国庫支出金		146,800	34,000	
		県支出金				
		地方債		127,490	114,950	
		その他				
	一般財源		6,710	6,050		
	人件費(B)			19,554	13,479	
		職員数		2.49	1.67	
		職員平均人件費		7,853	8,071	
(A) + (B) 投下コスト			300,554	168,479		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			784,736	233,999	
	市民1人当たりのコスト(円)			9,425	5,366	

【事務事業の今までの成果】

中心市街地において舗装・照明灯の整備により、まちなみ、交通安全性が改善された。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	まちづくり交付金事業の用途が拡大されて、活用地区はH16～H19で1356地区ある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	注目度が大変高い事業である。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	20年度で終了のため。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	駅東地区の新市街地形成のための道路・公園・多目的広場整備を推進する必要があると考える。

